



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 はるす	代表者	河合広美	法人・事業所の特徴	事業所の理念である、「一人一人が 自分らしく 心地よく 思いのままに」を常に考え、利用者様の思いに寄り添い、理解し、住み慣れた場所で心地よく暮らして頂ける様に、チームで考え、心地よい場所と色々な人との出会いやふれあいを大切にしています。
事業所名	小規模多機能ホーム はるすの湯	管理者	宮本典子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	3人（書面会議にて）	0人	3人（書面会議にて）	0人	19人（書面会議にて）	0人	0人	3人（書面会議にて）	0人	28人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> “気づく”という事を大切に、ヒヤリハット報告書の提出を積極的に行う。事故にならないよう対策を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の朝夕の申し送り、スタッフ会議で、細かなことも伝え共有し対策を考える事が出来た。 ヒヤリハットの報告は少し減った様に思う 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット報告は、気づけるかどうかが大きく関わってくる。事故の報告は明らかなので当たり前で報告書が挙がってくる。ひとりひとりが、どれだけ気づけるかが重要 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の改善計画 同様に“気づく”“気づき”に重きを置き、その気づきを職員間で共有し支援に繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 皆様に楽しんで頂けるレクリエーションを考え事業所が楽しく、明るくなる装飾を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 工作などのレクが充実し、季節を感じる事ができるような装飾なども制作し明るく、楽しい環境が作れた、 	<ul style="list-style-type: none"> 以前行っていた担当制でレクリエーションを考案するというのを復活させたい（考える職員が偏ってきているので） 痛んできている居室のチェストなどを替えていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓を心掛ける コロナ禍であるため、こまめな換気、共有箇所の消毒を徹底する これまで通り、明るく楽しい事業所になるよう努める
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外出レクが安全に行えるようになったら、地域に向向いていき関わりを持てるよう計画したい 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の終息は叶わず、地域に向向き、関わりを持てるような計画が出来なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ここ2年行えていない外出レクを計画したい 利用者様、職員皆で、出かけた（良い季節になると利用者様から声があがる） 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数での散歩や、外気浴などで外に出る機会を設け、少しでも地域との関わりがもてるよう工夫する
D. 地域に向向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が終息後、あるいは、ワクチン接種が進み外出が安全なものになったら地域に向向くレクリエーションを計画する 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種は、進んだが（ほとんどの方が2回～3回接種済み）新型コロナウイルス感染症は拡大し、地域に向向いていけるような計画は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援も蜜を避けるため、代行がほとんどだった。 ワクチン接種が進んだら、もう少し外出などが出来るかと思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭等のイベントが開催されるのであれば、少人数、短時間でも参加できるか検討する。その中で利用者様に お手伝いして頂ける事があれば携わって頂く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 実行出来なかった“前回の改善計画”を行っていきたい（※サービス評価 A～の項目について 6 回ある運営推進会議において、1～2 項目ずつ、ご意見を伺いたい） 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行拡大により運営推進会議が書面での開催であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、書面での報告書となり、直接伺う機会がもてなかったことは残念であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内だけでも、サービス評価 A～Fの項目についての話し合いを行う 運営推進会議が開催出来れば、直接、ご意見 ご要望を伺う

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様、職員が集まっても大丈夫な状況になったら防災管理者の指揮のもと通常規模の防災訓練を行う ・非難セットの点検をきちんと行い必要な物品を改めてそろえていく ・非難セット物品が期限切れになる迄に予め確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が終息せず（拡大がみられた）通常規模の防災訓練は行えなかった。 ・毎月、非難セットの確認を行っているものの、不足分の補充を都度行えてない 	<ul style="list-style-type: none"> ・密集を防ぐため、防災訓練が出来ない。 ・非難セット内の補充が後回しになってしまふ。 ・現実に災害が起こった時のことを考えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設における防災・災害対策について改めて考える機会を持つ。 ・非難セットの物品も見直す。
----------------------------	---	--	--	--